



# 強力速効!

# Back to Nature Products AQUA-STRIP

## "AQUA-STRIP" 強力ペイントリムーバー・アクアストリップ 取扱い説明書

この度はペイントリムーバー「アクアストリップ」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。取扱いには下記内容を十分ご理解の上行って下さい。

<b>1.特徴</b>	<p>「アクアストリップ」は1回の塗布で10層ものマリンペイントや防汚剤、ニス類を素早く強力に落とすことが出来る安全で環境にやさしいペイント剥離剤です。</p> <p>ゲルコートやFRP等、様々な表面材にもダメージを与えず安心して使って頂けます。また、長時間湿り気を持った状態保つため、最下層のペイントまで容易に浸透し、一度に広いエリアの施工が可能です。</p> <p>塗布にはハケ、ヘラ、ローラー、スプレーが使い、粘性のあるペースト状のため垂直面への塗布も可能です。</p> <p>製品は生物分解素材で、非可燃性。しかも塩化メチレンや防汚剤などの劇薬系を含まない安全で環境にやさしいペイント剥離剤です。また、無臭性で水で簡単に洗い流すことも出来ます。</p>
-------------	--

<b>2.除去可能な塗料</b>	<p>船底塗料、防汚剤、ポリウレタン、エナメル、チークオイル、ノンスキッドデッキ、ゴム製品等、ほとんどのマリンペイントやニス類を落とすことが出来ます。また、ウレタンのような難しい塗料も落とすことが可能です。</p>
------------------	---

<b>3.塗布面について</b>	<p>「アクアストリップ」はFRPや木部、アルミ面等、多くの表面に塗布が可能です。木部に塗布しても、変色させたり、表面を荒らすこともありません。腐食剤を含んでいないため、アルミに穴を開けてしまう心配もなく、あらゆる金属にダメージを与えません。この他、石膏、石造物、大理石、レンガにも塗布可能です。(石膏ボード、プラスチック、ゴム、リノリュームには使用しないで下さい。)</p>
------------------	--

<b>※重要</b>	<p>※ゲルコートの種類と劣化程度は多種多様のため、現状のゲルコートに使用可能かどうかを必ず小面積でテストをし、適応性や必要な待機時間を計って下さい。テストをせずに生じた不具合や費用に関しては一切責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。</p>
------------	---

<b>4.施工手順</b>	<b>準備</b>	<p>必要エリア以外をマスキングテープ等でマスキングします。</p>
	<b>1.テスト</b>	必ず小さな面積でテストし、適応性や必要な待機時間を計って下さい。
	<b>2.塗布</b>	<p>塗り厚0.8mmを目安に、ハケ、ヘラ、ペイントローラー、パテ用コテ、スプレー等で塗布します。(コテバケが一番均一に素早く塗れるためおすすめします。)その際、普通のペイントの様に薄く塗り伸ばさないで下さい。</p> <p>1ガロン(約3.8kg)当り、約50~75sq/feet(約4.6平方メートル)の面積に塗布可能です。気温16~26度で最大の効果が得られます。</p> <p>万一製品が凍結した場合は、解凍して均等によくかき混ぜてから使用して下さい。</p> <p>スプレーヤーを使うとさらに効率的な作業が可能です。その場合、スプレーの前によくかき混ぜ、フィルターをはずして塗布して下さい。(1GPMピストンのスプレーヤーで0.019~0.021のスプレーチップを使用します。)</p>
	<b>3.待機</b>	塗布後、約30分~4時間放置し、その後は定期的に状態をチェックして下さい。ペイントの層が厚ければ、それだけ長くおく必要があります。また、気温16度以下ではより長い待機時間が必要です。製品は24時間以上湿り気のある状態を保つことが出来ます。(2液性ウレタンのような塗料の場合、その性質上より長く時間をおくと効果的です。)
	<b>4.除去</b>	塗料が柔らかくなったら、スクレーパー等で広い面積を剥がし、硬い毛のブラシ等で細部を剥がします。別売「レディストリップ ウォッシュ」を合わせてお使いになるとさらに手際よく作業が出来ます。また、乾いたと思ったら湿らすことにより製品を再度活性化することが出来ます。頑固な塗膜にはもう一度「アクアストリップ」を塗布し、再施行して下さい。除去後、表面に残ったカスは速やかに取り除き水洗いして下さい。
	<b>5.注意</b>	船底塗料を落とす際、エポキシのバリアコートは残したい場合、「アクアストリップ」がエポキシバリアコートに浸透する前に、船底塗料と「アクアストリップ」を洗い流して下さい。その場合、必ず小面積でテストをして、正確な待機時間と剥がすタイミングを計ってから施行して下さい。

<b>5.安全のために</b>	<p>※作業は目や肌の保護のため、ゴム手袋や安全メガネをつけて行って下さい。(ブチルゴムやネオプレンゴム製の手袋をお勧めします。)また、狭い空間での作業には十分な換気を維持して下さい。目に入った場合はすぐに大量の水で洗って下さい。肌についた場合は水や石鹸水で洗い流し、皮膚軟化剤クリームを塗って下さい。誤って飲み込んだ場合は速やかに医師に相談して下さい。</p>
-----------------	---



# 強力速効!

# Back to Nature Products AQUA-STRIP

★ラベルが異なりますが商品に変更ありません。

## 強力ペイントリムーバー・アクア-ストリップ 作業上の注意事項

塗布前の船底の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 油分・フジツボ・藻等の汚れは出来る限り取り除いて下さい。</li> <li>★ 船底水洗いの時に、塗布面に湿り気が残った状態で塗布すると効果が乾燥した場合よりも、剥離効果が早くえられます。</li> <li>★ 作業準備として、<b>必ずテスト</b>を行って下さい。(剥離時間・下地のチェック)</li> <li>●この時<b>ゲルコート層のチェックも必ず行って下さい。(オズモシス・傷等チェック)</b></li> </ul>
塗布する道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 塗布する道具としては、コテバケ・ハケ・ローラー・エアレススプレー等がありますが、<b>手作業の場合は、コテバケでの塗布が良いか</b>と思います。また部分的には、ハケの併用もお奨めします。</li> <li>★ 作業においては、<b>ゴム手袋・メガネ等の保護具を必ずご使用下さい。</b></li> </ul>
塗布方法及び待機時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ <b>作業時間の効率化及び剥離効果を最大限に引き出すためには、待機時間を如何に有効的に利用出来るか</b>によります。</li> <li>★ <b>雨天時には、塗布作業は基本的にはお避け下さい。</b>この剥離剤は、<b>水溶性のため流れ落ちて</b>しまいます。</li> <li>★ <b>直射日光の当たる面は、夕方から塗布作業を行われたほうが、剥離剤の乾燥を防ぐと共に、待機時間が最も有効的に活用されます。</b></li> <li>★ 塗布後は、<b>マキワタ等</b>を必ず一度剥がして下さい。<b>UV塗装部(ライノ等)へは不可。</b></li> <li>★ <b>直射日光の当たる面では、剥離剤の乾燥が非常に早くなりますので、剥離剤効果を持続させるために、霧吹き等で表面を水で濡らして下さい。</b></li> <li>★ <b>上記天候に風が強い日には、更に乾燥しやすくなりますので、作業時間等を十分に考慮して下さい。</b></li> <li>★ <b>喫水付近の船底塗料は、塗膜が最も厚くなりやすく、また汚れがコピリついていると思われるので、他の部分よりは塗布膜はより厚く、待機時間もより長く置かれたほうが、剥離剤の浸透がより充分得られます。</b></li> <li>★ <b>やむを得ず、船底水洗いが充分に出来なく塗布面に藻が付着している場合は、塗布膜をより厚くして、また待機時間もより長くしなければなりません。</b></li> </ul>
剥がす時のご注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 地面に出来るだけ落とさないようにして下さい。</li> <li>★ 剥がした剥離剤には、<b>船底塗料が溶けた状態で一緒になっていますので、地面に落ちた状態で放置すると、船底塗料だけが取れなくなってしまう</b>ます。</li> <li>★ 対処方法としては、水で流せば剥離剤は綺麗に流せますが、船底塗料はくっついてしまい始末が良くありませんので、<b>ダンボール、シート等を敷かれる事も良いか</b>と思います。</li> <li>★ <b>最後に、剥離剤が残らないように十分に水洗いをして下さい。</b></li> <li>●<b>必要以上放置するとゲルコート層まで浸透しますので、良くご確認下さい。(オズモシス・傷)</b></li> </ul>
お願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆<b>天候、船底状態等により、剥離時間に差が出ますのでご理解下さい。</b></li> </ul>

■ ご注文・お問い合わせはこちらどうぞ ■

ニュージャパンヨット株式会社 <<http://www.njy.co.jp/>> TEL: 0548-54-0221 FAX: 0548-54-0223